



一月の幼稚園

堀 合 文 子

一月の保育

幼稚園……堀 合 文 子

保育所……鈴木 と く

第三期に入りますと、年少も年長も一年間の仕上げの時です。何かと行事が多く、保育時間の少い時期ですが、年少は年長への準備

年長は小学校への準備として、一月より少し整理した時期を過ぎたものです。一年間の中で最上の発達の時として、お子さんの力を十分に活用させ充実した生活をおくらせたいものです。一月はお正月のたのしさの充分残りを味わせながら、社会生活にもどしてゆく月に致しましょう。寒さは益々加わり殆ど室内遊びの多い月に、健康に注意しつつ、お子さんの生活力を充分活躍させる様、私共が寒い時の保育として考えねばならないでしょう。

<p>主 題</p> <p>○お正月</p> <p>お正月のお休みにした事、遊んでたのしかつた事等と話し合 いの形で生活発表させる。</p> <p>お正月の遊び、カルタ、すごろく、羽根、羽子板、凧等の</p>	<p>年 少 組</p> <p>年 長 組</p> <p>○お正月</p> <p>主旨は年少組に殆んど同じであるがその内容、期待、効果 に於てはもつと要求をし、整えなければならぬ。</p>
--	--

道具を用意して皆で遊ぶ。

お正月のお休みの中のお画かきをしてみる。生活発表を絵でさせるわけである。

歌もリズムもお正月のものを取材する。

種々の方面から環境をととのえつゝこの様にしてお休み中の家庭でのたのしいお正月を幼稚園へも延長させて年中行事に対する興味を助長する。

○お家について

室内あそびの多い此頃なのでままと遊びより展開させて女兒には、きせかえ人形、男子には、小さいお家をつくらせて、家庭、家への関心を持たせるようにする。

発展の仕方は種々あるがその幼児の生活程度に応じて家のみ個人が作るだけで止めておいてもよいし、又それを更に幼児の要求により、家を並べて自分達の町の様な体形にしても面白い。

但しその発展は幼児の要求をまたなければいけない。その要求を上手に誘導して種々そこには工夫も出てくるであらう。

お話

○お正月のお話合

○ねずみさんの雪だるま

○ねずみの餅引き

○わるいくせ

○記念帖

この学期で卒業の年長組はそろそろ卒業のための支度もはじめる。幼稚園の記念としてお友達との絵を一冊の帳面にする。そのために数日をかけて、お友達へ一枚づゝ絵をかいてお互にためておく。

○郵便やについて

字もかける人も出来て来るが、あまり学校的にならぬよう重荷にならぬ程度でこの遊びをはじめ。社会見学の意味で郵便局を見学にゆく。必要な道具をつくる。

準備が出来たら、互に手紙をやり取りしたりして、他の組のお友達までも誘導したりしてたのしく遊ぶ。

うた、リズムも郵便やさんに関係あるものを取材する。前述の様にあくまで、幼児の出来る範囲の遊びとして展開させ、社会生活への興味、字をかきという事への誘導を目的とする。

○お正月の話合

○風琴物語

○ガリバー旅行記(一)

○ガリバー旅行記(二)

観察

○人形芝居「文福茶釜」

○紙芝居

○幻燈

○カレンダー

部屋に新しくなつたカレンダーを中心に話合いながら月、日、曜日、週間の話を簡単にする。部屋の黒板には毎日の日附が書いてあるから、毎日、今日は何日か何曜日かを皆で話合うようにすると自然と日の観念が出来る。

○福寿草

地味な花だがお正月の盆栽として他の花と形色の違い等を話合つて観察する。

○水仙

お正月の花として家庭、お店で見られるので、部屋にも飾つて、観察する葉の形、花のつき方、水仙の種類等話合つ

○ガリバー旅行記(自)

○人形芝居「白雪姫」

○人形あそび

人形芝居の人形を用いて、子供達を自由におどらせたり、会話をさせたりする。自由に用いさせておくうちに自然と子供達の間で会話が出来るものがあるから、私共はその機を上手につかんで發表力、表現力の養成の点からも会話を上手に誘導し、又背景、小道具まで製作したりしてたのしく遊ばせる。

○幻燈

○カレンダー

暮の中でも又お正月に入つてもカレンダーを子供達の手で作り、毎日日附をみる約束をし、一月より新しいカレンダーとゆう事の話をしながら、カレンダーに観念を持たせる。日の観念は仲々むずかしいので一度に沢山とゆうわけにゆかないから毎日毎日話合つたり又毎月始めにその月のカレンダーを作つたりして気長にのみこませたい。

○水仙 年少と同じ

○霜柱 年少と同じ

○冬の花壇

秋にまいした種、植えた球根等がどうなつていくか、晴れた

<p>絵 画 作</p>	<p>音 楽 リ ズ ム</p>	
<p>○空箱利用のお家作り 空箱の蓋又は浅い箱を利用して自分自分好きな家をつく</p>	<p>○霜柱 て観察する。 一毎朝霜柱が一杯なので幼児と一緒にざく／＼とふんだり、一番高い所をさがしたり、そとうつと取つたり、日光にあてゝみたりして観察する。</p> <p>○もちつきのリズム遊び もちつきから発展させて、まるめたり、のばしたりして作り、おいしく食べる所まで表現させる</p> <p>○風の自由表現 曲にあわせて風になつたつもりでとんでいる様子を自由に表現させる。</p> <p>○スキップでいらつしやい</p> <p>○ねことねずみ</p> <p>○宝さがし</p> <p>○レコード鑑賞</p> <p>○器樂あそび 前からの練習の程度。 ハンドカスタでゆうぎをしたりしてリズム感をはつきりと複習しておきたい。</p>	
<p>○郵便やさんのポスト、葉書、切手、スタンプ作り ポストは大きくても又箱ポストでもよい。これは大人の</p>	<p>○お正月のゆめ</p> <p>○風のリズム遊び 風になる人、風をあげる人に分れて曲にあわせて、種々の風になり風にかれる所、一方は上手にあげる表現をする。</p> <p>○とびはねろ</p> <p>○びつくり箱</p> <p>○子とろ</p> <p>○レコード鑑賞</p> <p>○器樂あそび もう第三期になると各部、ハンドカスタ、トライアングル、鈴、太鼓、タンバリン、ピアノ等に分れて合奏する。 自分のパートを個人個人一生けんめいやる事、やらないを全体にひびく事をしらせたい。</p>	<p>日に皆でみまわりにゆき、霜のひどい所は、薬をのせたりして霜よけをしてあげる。</p>

健康の習慣	よき習慣	
<p>○咳をする時は手でおさえてみましょう</p> <p>○お天気のよい日はなるべく戸外で遊びましょう</p> <p>○食事の途中でたつたりするのはよしましょう</p>	<p>○お部屋の中では静かに遊びましょう</p> <p>○仕事をした後、紙屑の後仕末をちゃんとしましょう</p>	<p>る。その場合年少組であるので家の庭のようにしてもよいし、一つの部屋のように椅子机等を作つておく位の程度にしておく。紙を与えて自分達でつくり、先生の方からはヒントを与える程度にする。</p> <p>○着せかえ人形 女兒は印刷してある着せかえ人形を作る。はじめの一枚は印刷してあるものを用いるが、あとは自分達で洋服をもつと作つたり、お人形をふやしたりして遊ぶ。 洋服を作る時、後と前を同じ模様、同じ模様にするように注意する。</p> <p>○おきあがりこぼし作り</p> <p>○お画かき自由</p> <p>○えのぐのお画かき</p>
<p>○年少と同じ</p> <p>○仕事の間、食事の間にはなるべく先に用便にゆき、途中ゆかぬようにしましょう</p>	<p>○年少と同じ</p> <p>○登園時間におくれないようにしましょう 三月で学校へゆくので朝の時間はきちんとする習慣をつけます。</p> <p>○乗物の中では静かに致しましょう</p>	<p>仕事が終わらなくて色をぬる位が仕事である。 葉書切手も、実物をお手本にしながらなるべく実物らしく作る。</p> <p>スタンプはお芋でもおとうなすでもよい。浮出すように掘つてスタンプを作る。これら一つ一つがあまりこつたものでなく、なるべく簡単なものでおもしろく遊べる様に子供達と相談しながら作りたい。</p> <p>○こま作り</p> <p>○お画かき自由</p> <p>○えのぐのお画かき</p>

<p>○よくかんでたべましょう ○一月の身長体重の測定</p>	<p>行事 ○元旦 ○成人の日</p>
	<p>○年少と同じ</p>

一月の保育所

鈴木とく

勤労者の幼児にとつて、お正月は、最良の楽しみの時と云えましよう。三日、或は暮から五日、一週間と、母の膝の下で過せる時です。

この充ちたりた幸福感の余韻を大切にしたいと思ひます。十日位迄は、どんなに、幼く人の多い保育所でも、出席は、そう多くないと思ひます。この小人数の中は、母の膝のもとで味つた気分をこわさない様な、家庭の正月のあそび、お話し、おやつつくり等で、過させましよう。

十六日の敷入り迄の前二週間は、日本伝承の正月遊びが、自由な気分の中で繰返されてよいと思ひます。保母も共に羽根をつき、福笑いに興じましよう。何処かへお客様に行つた事、お年玉を頂いたこと、暮の餅つきを

みた話から年賀状の話等、種々語り合ひや、生活発表の材料が豊富であり、ストーブの囲りとか、炬燵の囲りと云う、親しみやすい環境の中で、なるべく普段発表の拙い幼児のそれを引き立て、あげましよう。

百人一首の「坊主めぐり」は、年少組の幼児も交つて出来ます。振つて出たさいころの目数だけ進む双六や、福笑い、簡単な絵の単語カルタ等に、進んで入りたがります。

この時、年長の幼児が、年少の幼児を邪魔者扱いにしたり、意地悪したりしない様に、又、年少児が、我ま、を出して、年長児を困らせない様に、そうした気持の訓練は、この様な、家族的な遊びの中で自然にやつて行きたいと思ひます。

一月の保育予定案は？と、まだ、立て、ない方は、あちらこちらと資料あさりをする前に、又、びつちりと、すきもなく保育案の立案のすんだ方も、それを実行にとりかゝる前に、この幼児のお正月の余波の中に入りこんで、その様子の中から、母と共に過せた安定感のもたらずもの、或は、短時日ではあるが、過ぎた愛情のもたらずよくない習慣等、何かと個々に掴みとつて、保育案実行の、或